



設定した生活像や目標についての議論を 現地で確認

1 調査の概要

円卓会議では、論点と目標についての議論を十分に重ねた段階で、その議論の内容を実際に確かめるため、現地調査を行いました。調査では、具体的に現地を見ることで、望ましい生活像や論点ごとの議論を踏まえ、設定した「生活像」や「目標」について、それまでの議論の妥当なことを確認しました。

調査項目は、5つの論点の中から、生活者の観点で最もかかわりの深い「緑・自然」と「歴史・資源」の2つを選びました。調査は、論点ごとに2班に分かれて、それぞれ休日を活用し、午前中に現地調査をし、午後から写真カード方式によるワークショップを行う方法で実施しました。

「緑・自然班」は、現存する里山と市街地内の公園を調査し、里山の重要性の認識と保存や活用方法、市街地内の公園のあり方を提案しました。

「歴史・資源班」は、旧東海道の街並みを調査し、歴史的な街並みの保存や維持のあり方、歩行者がゆっくりと散策できる空間づくりのための提案をしました。

